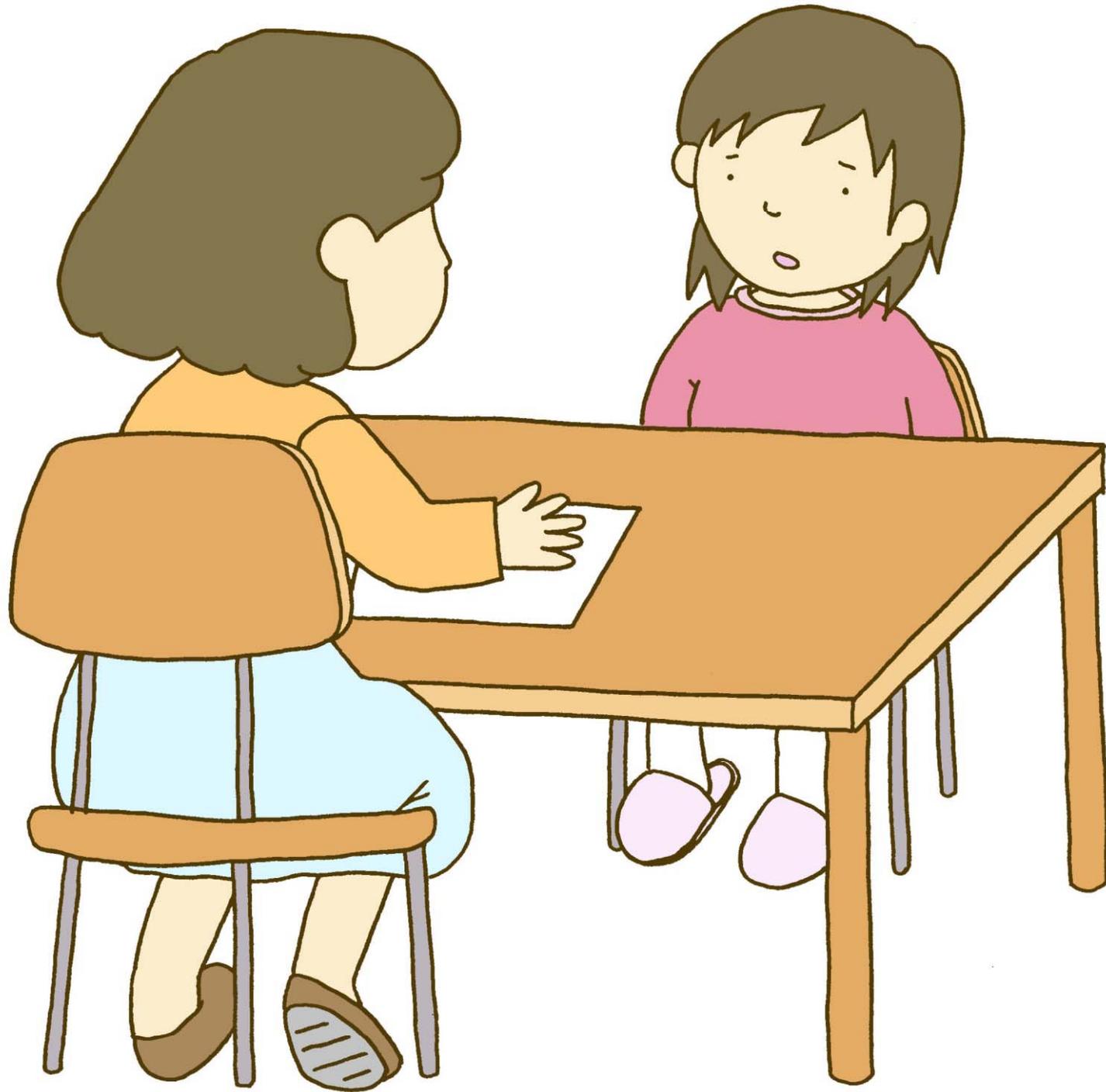


先生と保護者の関係づくり

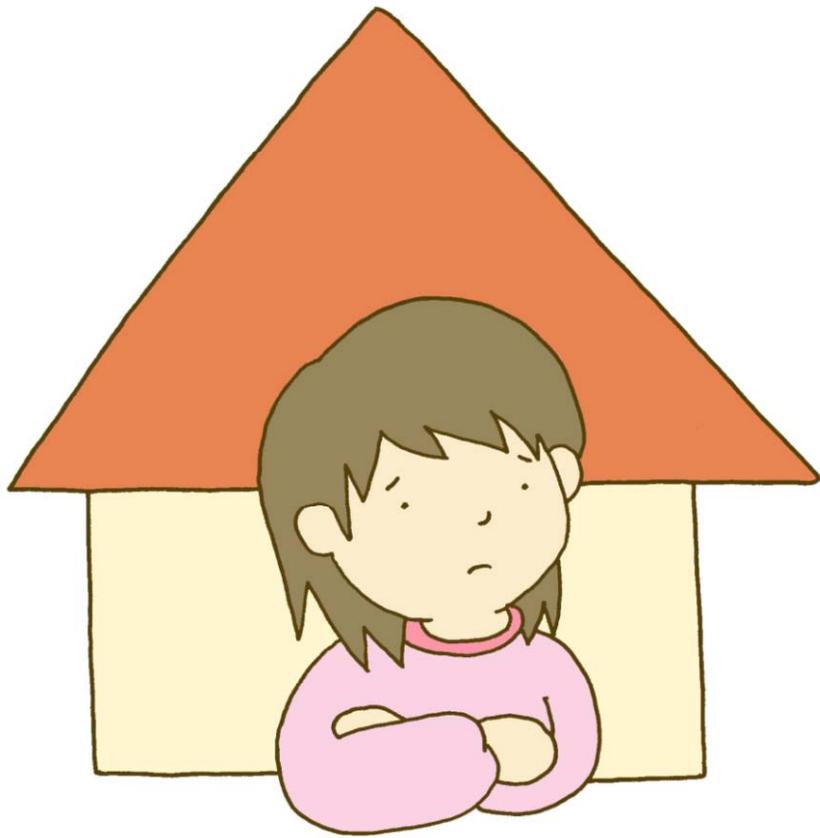












=



協力関係のために大切なこと

- * 何のために協力をしあうのか
の確認と共有
- * 分からないことを少なくしていく

なぜ、学校と家庭が協力し合うの？

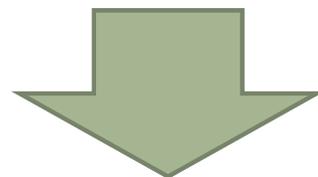
一貫した対応をすることで

現在 → 子どもが学校や家庭で充実した時間を過ごすため

将来 → 子どもが生きる力をつける基盤を作るため

分からないことを少なくするには

先生と保護者が役割や考えを確認



**「分からない」
という溝を埋める**



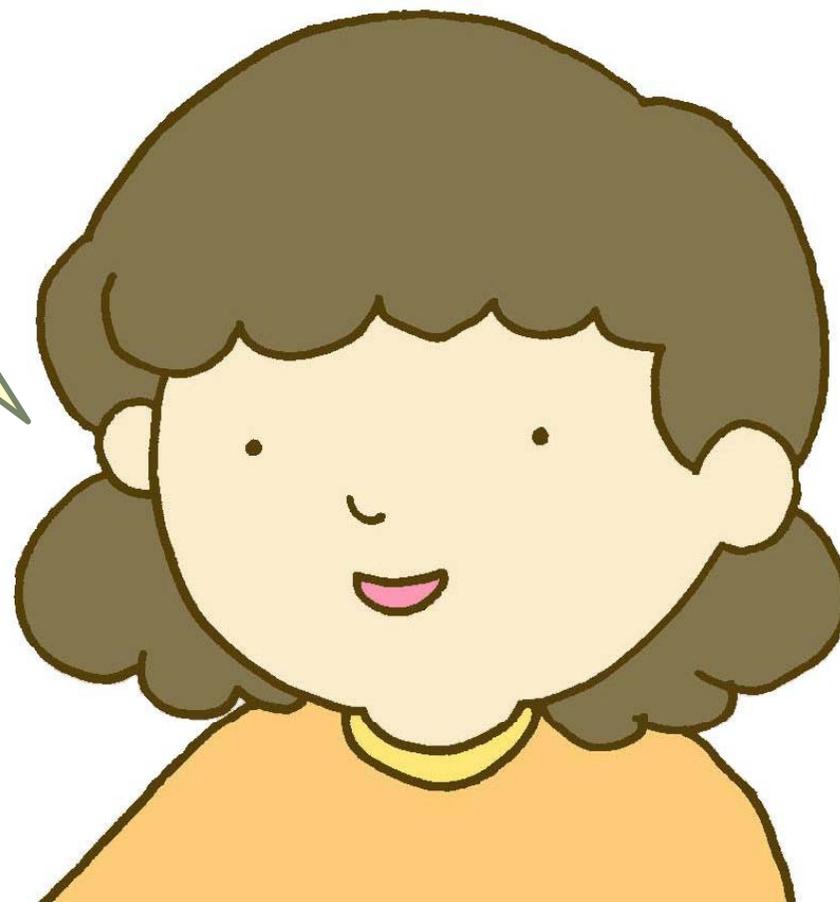
例えば・・・



- ・ 「学校や先生にどんなことならお願いできるの？」
- ・ 「先生にどう伝えたら子どものことを分かってもらえるの？」
- ・ 「特別なことをお願いしたら通常の学級にいられなくなってしまうの？」

分からないことを少なくするために

学校では
このようなことが
できますよ！



保護者と向き合う

保護者の言葉の意味を考えて聴く

お母さんが
私に伝えたいのは
どんなことなの
かしら？

好きなことを
優先するのが
ずっと続くのでは
と心配なんで
す・・・

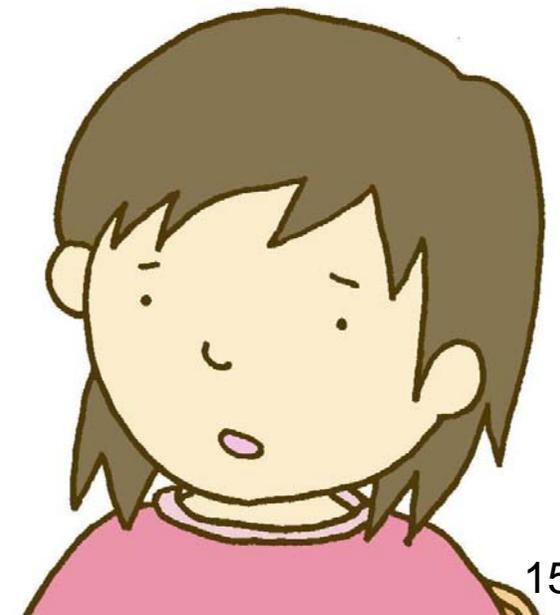


かくれたメッセージの例

「学校や先生も一緒に考えて欲しい」

「もう疲れてしまった。
先生にお願いできないかしら・・・」

「なぜ頑張ってくれないの？
頑張っしてほしいのに・・・」



保護者と向き合う

**先生が困っていることを
すぐ子どもの問題として捉えない**

実は、立ち
歩きが多く
て困って
います。

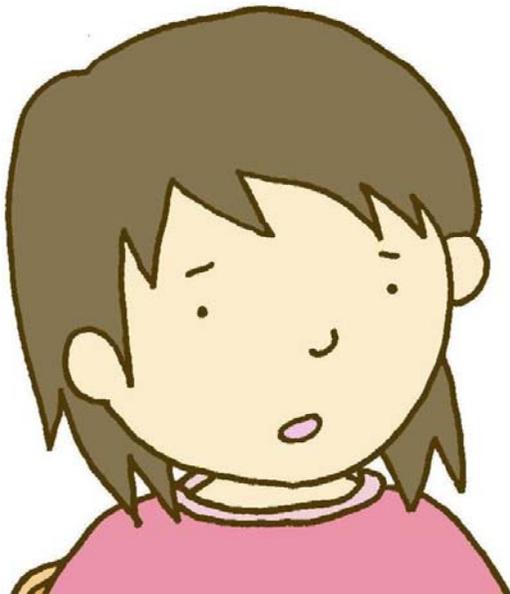
.....



保護者の心配の例

「何か問題を起こしていないかしら」

「友達がいなくなってしまうたら
どうしよう」



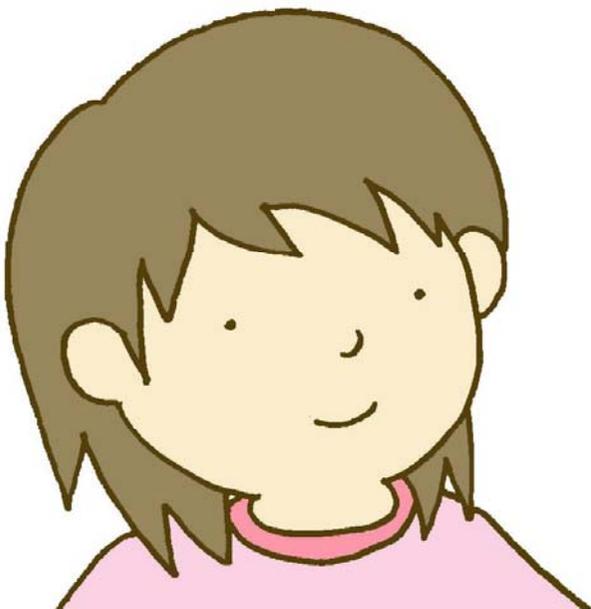
「学校に行きたがらなく
ならないかしら」

保護者の期待の例

「子どもに合った対応を考えて欲しい」

「将来、子どもが生きやす
いよう、今の時間を大
切にして欲しい」

「家庭での関わり方を教
えて欲しい」



先生が困っていることは？

= 子どもが困っていること

= 保護者が心配していること

= ~~子ども~~の問題



保護者と向き合う

協力を得るのが難しい保護者との
関係づくり

保護者の協力を得るのが難しい場合

- * 子どもに支援が必要な困難さがあると気づいていない場合
- * 子どもが困難さを抱えているのは知っているが保護者が認められない場合
- * 子どもが困難さを抱えているのは知っており保護者も認めているが、家族の協力が得られない場合

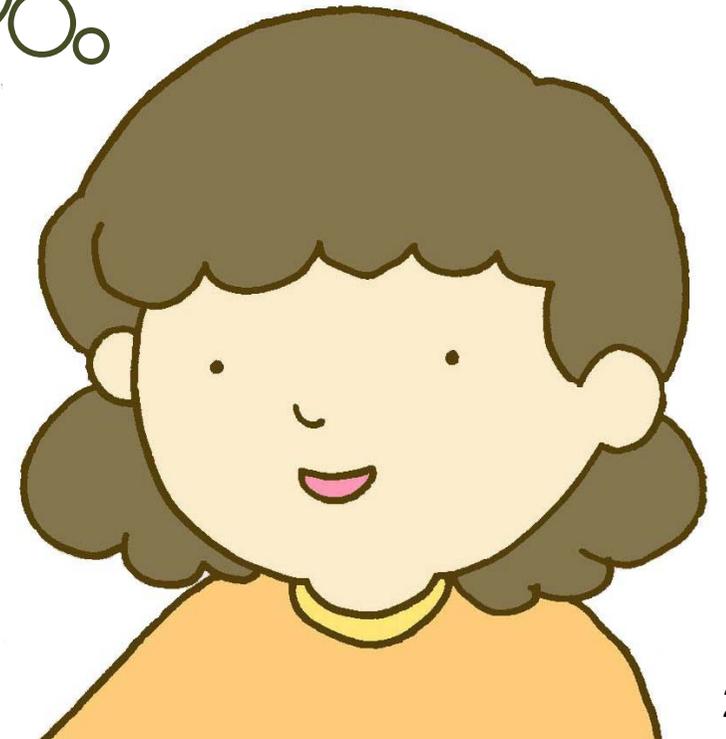
保護者の立場で考えてみる

- * 両親の考えの不一致
 - * 親族や実家の理解が得られにくい
 - * 地域の理解が得られにくい
- など

先生にできること

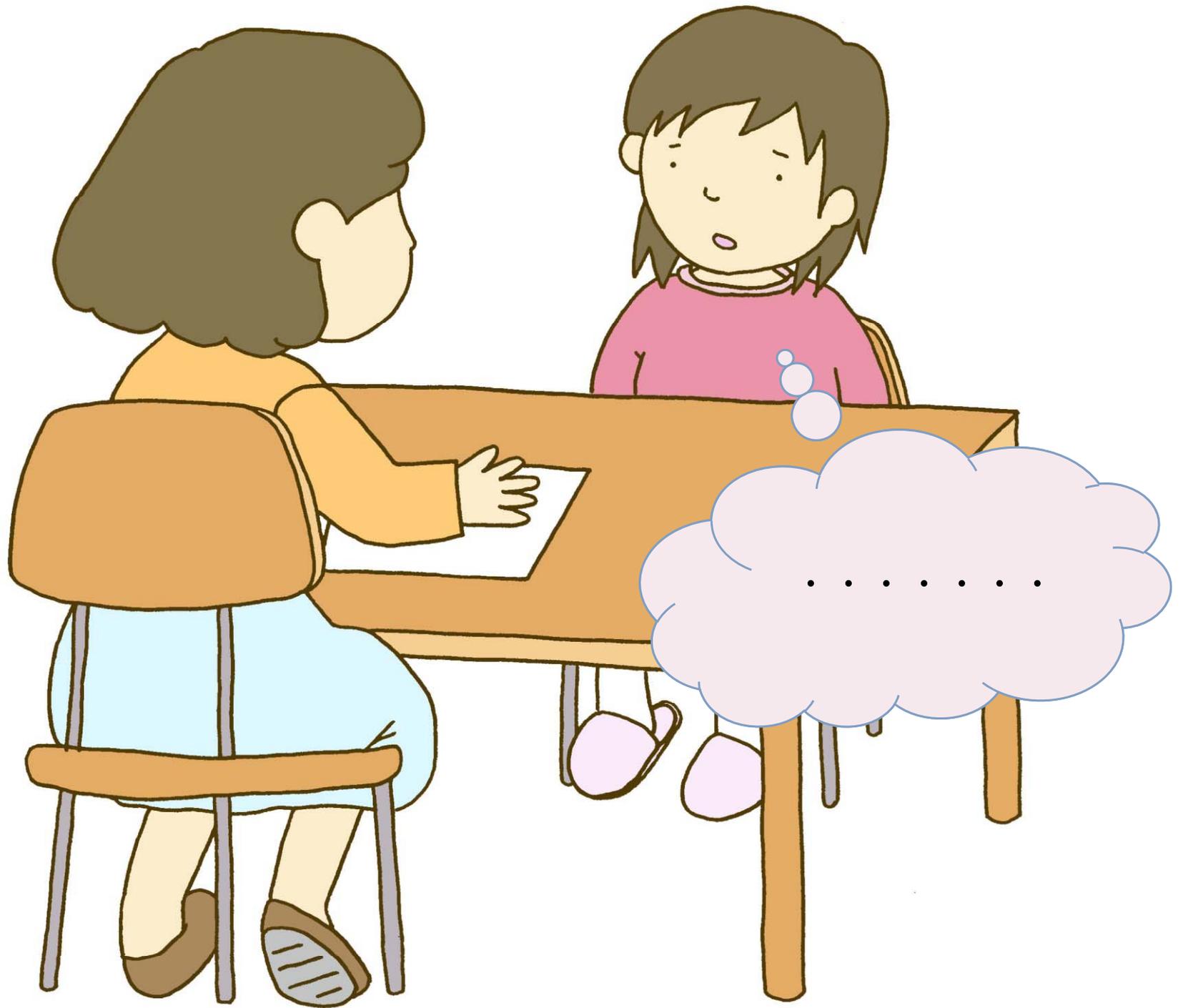
学級全体の中で
どんな配慮が
できるかしら・・・

お母さんは
どんな気持ち
かしら・・・

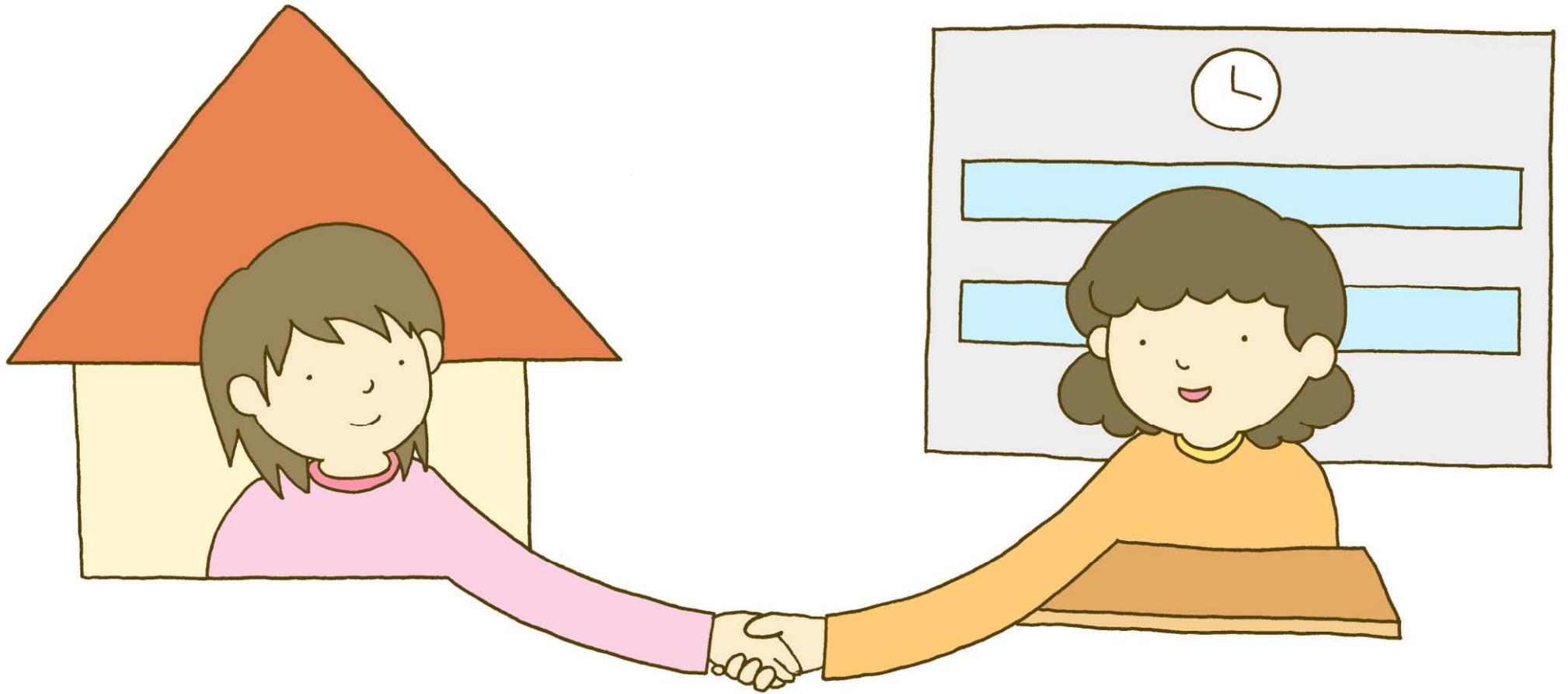


先生が抱えこまないために

- * **他の先生や
特別支援教育コーディネーターに相談**
- * **校内委員会での検討**







終わり

先生と保護者の関係づくり

担当：伊藤由美